

Neuroscience 2016  
第39回 日本神経科学大会  
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

機器展示・書籍展示

募集ご案内



2016年7月20日(水)～22日(金)

パシフィコ横浜

第39回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016

大会長 入来 篤史

(理化学研究所脳科学総合研究センター)

## ご挨拶

### 脳と心、すこやかに

いま、私達の日常社会のなかで、さまざまな「こころの問題」が注目されています。人生をより豊かに幸せにおくるために、そして直面するさまざまな問題を理解し解決するために、こころのメカニズムの解明は、これからの脳神経科学の大目標です。今年の第39回日本神経科学大会は、第31回国際心理学会議と、同じ会場で連続して開催します。これを好機として、本大会は『**脳と心、すこやかに**』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を期して、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図ることを目指します。

しかし、心理的な現象である「心」のはたらきと、生物的な臓器である「脳」機能のメカニズムとの間には、まだまだ大きなギャップがあります。人間の心は、個性ゆたかで多様性に富み、人生の経験や歴史とともにうつろいゆくものですから、できるだけ単純な要素還元論的な説明や再現性と普遍性を追及する現代自然科学の作法とは、実は相性がよくないのです。けれども、「心」は私達の「脳」のはたらきで生み出される、と誰もが思っていますから、それを知りたくなるのも、また人間です。脳神経科学は、すぐその手前まで手の届くところまで来ている、と人々の期待をあつめています。わたしたち神経科学者はそれに真剣に応えようとしています。

ここに必要なのは、立場の異なる人々がお互いに敬意をもって寛容に向かい合い、絶え間なく交流することによる相互作用でしょう。そのためには、有効な仮説を幾つも組み立て、一つ一つ丁寧に吟味してゆく以外にありません。こうした実証実験で得た事実に基づいて元の仮説を再検討し、それが修正されたり否定されたりしながら、これを幾度も幾度もくりかえすことが、研究の進歩を確実に牽引します。脳神経科学は、人間の心の問題に科学的な客観評価軸をもとめる、現代社会の要請に答えようとしています。そしてそこには心のメカニズム解明という、学問的な大挑戦としての躍動感、真実を追及して深く考える学者の本分としての醍醐味があります。

この相互作用をより内容の濃いものにするために、本大会では国際心理学会と協働して、さまざまな連携・共同企画を予定しています。脳と心の理解は、『人間』を理解することでもあります。さらにここで、そのメカニズムの一端でも、従来の自然科学的な機能分子や神経回路の言葉に翻訳するための、これまで困難であった新たな方法を編み出すことができれば、現代社会が直面するさまざまな心の問題を直ちに克服して、すこやかな脳と心をはぐくむ手掛かりが得られるかもしれません。本大会が、そのような契機となることを願っています。

第39回日本神経科学大会

大会長 入来 篤史

理化学研究所脳科学総合研究センター

## ■ 開催概要

1. 会議の名称 第39回日本神経科学学会大会  
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

2. 大会テーマ 脳と心、すこやかに  
be sound, brain and mind

3. 開催日程 2016年(平成28年)7月20日(水)～22日(金)

4. 開催会場 パシフィコ横浜  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい-1-1-1  
<http://www.pacifico.co.jp/>

### 5. 開催の目的と意義

本大会は『脳と心、すこやかに』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を目指す、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図る。本大会はまた、連続して開催される第31回国際心理学会議と協働して、健やかな脳と心を育て近未来の人間社会が豊かで幸せであることに資するべく、様々な学際的連携企画を予定している。

### 6. 開催計画の概要

- プレナリーレクチャー
- 特別講演
- 特別企画
- シンポジウム
- 受賞記念講演
- 一般口演・ポスター発表
- ランチョンセミナー
- 機器、試薬、書籍等展示会等

7. 参加者数 約3,500名(予定)

8. 使用言語 日本語 / 英語

## 9. 大会組織

大会長	入來 篤史	理化学研究所脳科学総合研究センター
実行委員長	三村 將	慶應義塾大学医学部
実行委員		
財務委員	岸本 年史	奈良県立医科大学医学部
	鈴木 則宏	慶應義塾大学医学部
	須原 哲也	放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター
	里宇 明元	慶應義塾大学医学部
大会委員	礪村 宜和	玉川大学脳科学研究所
	大塚 稔久	山梨大学大学院総合研究部
	加藤 総夫	東京慈恵会医科大学医学部
	久保 健一郎	慶應義塾大学医学部
	熊崎 博一	福井大学子どものこころの発達研究センター
	田岡 三希	理化学研究所脳科学総合研究センター
	田中 謙二	慶應義塾大学医学部
	筒井 健一郎	東北大学生命科学研究科
	中島 修子	理化学研究所脳科学総合研究センター
	野田 百美	九州大学大学院薬学研究院
	山崎 由美子	慶應義塾大学先端研究センター

### プログラム委員長

坂上 雅道	玉川大学脳科学研究所
持田 澄子	東京医科大学医学部

### プログラム委員

池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科
伊佐 正	自然科学研究機構生理学研究所
石井 信	京都大学大学院情報学研究科
岩坪 威	東京大学大学院医学系研究科
上田 泰己	東京大学大学院医学系研究科/理化学研究所生命システム研究センター
岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所
岡本 仁	理化学研究所脳科学総合研究センター
岡本 泰昌	広島大学医歯薬保険学研究院
小川 園子	筑波大学人間系
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科
尾上 浩隆	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター
笠井 清登	東京大学大学院医学系研究科
狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科
上口 裕之	理化学研究所脳科学総合研究センター
上川内 あづさ	名古屋大学大学院理学研究科
菊水 健史	麻布大学獣医学部
北澤 茂	大阪大学大学院生命機能研究科
黒田 公美	理化学研究所脳科学総合研究センター

小林 和人	福島県立医科大学医学部
後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科
五味 裕章	NTT コミュニケーション科学基礎研究所
櫻井 武	京都大学大学院医学研究科
定藤 規弘	自然科学研究機構生理学研究所
澤本 和延	名古屋市立大学医学研究科
白尾 智明	群馬大学大学院医学系研究科
鈴木 匡子	山形大学大学院医学系研究科
高草木 薫	旭川医科大学医学部
高橋 英彦	京都大学大学院医学研究科
高橋 良輔	京都大学大学院医学研究科
内匠 透	理化学研究所脳科学総合研究センター
田中 沙織	国際電気通信基礎技術研究所
田中 真樹	北海道大学大学院医学研究科
筒井 健一郎	東北大学大学院生命科学系研究科
銅谷 賢治	沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット
富永 真琴	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター
富本 秀和	三重大学大学院医学系研究科
内藤 栄一	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部
中村 加枝	関西医科大学医学部
鍋倉 淳一	自然科学研究機構生理学研究所
西田 眞也	NTT コミュニケーション科学基礎研究所
貫名 信行	同志社大学大学院脳科学研究科
野田 百美	九州大学大学院薬学研究院
服部 信孝	順天堂大学医学部
花嶋 かりな	理化学研究所多細胞システム形成研究センター
春野 雅彦	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
平田 たつみ	国立遺伝学研究所
尾藤 晴彦	東京大学大学院医学系研究科
藤田 一郎	大阪大学大学院生命機能研究科
真鍋 俊也	東京大学医科学研究所
三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科
森 郁恵	名古屋大学大学院理学研究科
山中 宏二	名古屋大学環境医学研究所
山本 亘彦	大阪大学大学院生命機能研究科
吉村 由美子	自然科学研究機構生理学研究所
和田 圭司	国立精神・神経医療研究センター神経研究所
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究科

(五十音順)

組織委員

浅島 誠	日本学術振興会
安西 祐一郎	日本学術振興会
岡野 栄之	慶應義塾大学
永井 良三	自治医科大学
中尾 一和	京都大学
長谷川 寿一	東京大学
長谷川 眞理子	総合研究大学院大学
樋口 輝彦	国立精神・神経医療研究センター
廣川 信隆	東京大学
藤吉 好則	名古屋大学
松沢 哲郎	京都大学
矢崎 義雄	国際医療福祉大学
山岸 俊男	一橋大学

(五十音順)

## 10. 収支予算案

### 収入の部

項 目	金額 (円)	備考	
<b>1 大会参加費</b>	<b>40,100,000</b>		
[早期事前登録]			
会員 (一般) 16,000 x 1,300名	20,800,000	参加者 3,000名想定	
会員 (大学院生) 1,000 x 500名	500,000		
会員 (筆頭発表の学部学生) 1,000 x 50名	50,000		
非会員 (一般) 20,000 x 70名	1,400,000		
非会員 (大学院生) 3,000 x 50名	150,000		
[後期事前登録]			
一般 18,000 x 200名	3,600,000		
会員 (大学院生) 2,000 x 20名	40,000		
非会員 (一般) 22,000 x 60名	1,320,000		
非会員 (大学院生) 4,000 x 50名	200,000		
[当日参加]			
会員 (一般) 20,000 x 240名	4,800,000		
会員 (大学院生) 3,000 x 30名	90,000		
非会員 (一般) 25,000 x 250名	6,250,000		
非会員 (大学院生) 5,000 x 180名	900,000		
<b>2 懇親会参加費</b>	<b>2,010,000</b>	有料参加者500人 (一般300 : 大学院生200)	
<b>3 学会貸付金</b>	<b>500,000</b>	日本神経科学学会	
<b>4 出展料</b>	<b>27,432,000</b>	機器展示 90小間、書籍展示 30小間 アカデミア展示 20小間	
<b>5 セミナー共催費</b>	<b>14,688,000</b>	10件	
<b>6 スポンサー費</b>	<b>3,000,000</b>	パッケージスポンサー	
<b>7 広告料</b>	<b>2,440,800</b>	HPバナー広告、プログラム集広告	
<b>8 寄付・助成・補助</b>	<b>10,000,000</b>	財団等	
<b>9 その他収入</b>	<b>500,000</b>		
<b>合 計</b>	<b>100,670,800</b>		

### 支出の部

項目	金額 (円)	備考
<b>1 会議準備費</b>	<b>18,210,216</b>	
1 事前準備人件費	3,798,200	
2 会合費	345,800	
3 事前参加登録関係費	1,000,000	
4 演題処理関係費	2,000,000	
5 座長依頼、座長管理費	278,640	
6 ホームページ制作関係費	1,188,640	
7 印刷・制作費	6,685,740	
8 翻訳費	151,200	
9 通信費	761,996	
10 運営諸経費	2,000,000	
<b>2 会議運営費</b>	<b>74,848,333</b>	
1 会議場利用料、付帯設備費	34,178,023	パシフィコ横浜
2 映像機材費	6,820,241	
3 看板関係費	1,092,960	
4 ポスター会場関係費	1,034,953	
5 展示会場関係費	6,636,988	無線LAN設置費含む
6 大会当日人件費	6,665,760	
7 招待者関係費	8,089,760	プレナリー・特別講演等
8 会議費	6,726,240	懇親会・若手国際交流会
9 運営諸経費	2,231,888	事務局備品等
10 市民公開講座運営関係費	1,371,520	
<b>3 事後処理費</b>	<b>3,393,037</b>	税理士費用・学会貸付金返済含む
<b>4 予備費</b>	<b>4,219,214</b>	
<b>合 計</b>	<b>100,670,800</b>	

---

---

機器展示・書籍展示

募集ご案内

---

---



## ■附設展示会 募集要項

1. 展示会会期 : 搬入 2016年7月19日(火) 午後  
会期 2016年7月20日(水)～22日(金)  
搬出 2016年7月22日(金) 15:30以降  
※搬入・搬出の日程は変更となる場合がございます。会期約1か月までにご案内する「出展要綱」にて必ずご確認ください。
2. 展示会場 : パシフィコ横浜 展示ホール  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい-1-1-1  
<http://www.pacifico.co.jp/>
3. 募集対象 : 医療・ライフサイエンスの研究などに必須の機器類、試薬類、ディスプレイ製品類、ソフトウェア・データベース等を含むコンピュータシステム類、受託解析等のサービス類、大学や研究施設等の紹介・募集、その他研究に携わるサービス類、関連書籍等の出展や翻訳サービスを募集対象といたします。  
募集対象外の商品やサービスはお断りしております。
4. 募集小間数 : 80小間(予定)
5. 申込方法 : 規程の申込書(別紙)に必要事項をご記入の上、E-mail 又はFAXにて運営事務局へ送付ください。申込書をお送りいただく際には、送信・受信エラーなどにより申込書が届かない場合がございますので、送付いただきましたら電話やe-mailにてご連絡・ご確認をお願いいたします。
6. 申込締切 : 2016年4月13日(水)
7. 振込期日 : 2016年5月31日(火)  
※出展料金を請求後、何らかの事情で振込期日までに振込が間に合わない場合は、必ず運営事務局へご連絡ください。ご連絡がなく振込がない場合は、開催当日、展示会場に小間のご用意が出来ない上、事項の出展解約に基づき解約料金をお支払いいただきます。
8. 出展の解約(キャンセル)について : 申込受理後は、実行委員会が不可抗力と認めた事故以外は原則解約することはできません実行委員会が認めた場合でも、出展の解約理由を書面にて送付していただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いいただきます。  
※解約金  
2016年4月13日までに受領した場合・・・  
請求額(出展料金)の50%を解約金としてお支払いいただきます。  
2016年4月14日以後に受領した場合・・・  
請求額(出展料金)の全額を解約金としてお支払いいただきます。

9. 申込・問合せ先 : 第39回日本神経科学学会大会 運営事務局  
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン(旧:株式会社 ICS コンベンションデザイン)内  
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング  
TEL:03-5657-0777 FAX:03-3452-8550  
E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp  
※2016年4月より、移転のため連絡先が変わりました。
10. 小間の割当て : 申込み締切後、出品物の種類・形状・重量・小間数などを考慮し、小間割りした後「出展要綱」を出展社へ通知いたします。出展社説明会は行いませんので、ご了承下さい。 ※グループ会社間や協力・共同会社間で、小間を隣接させたい等のご希望がある場合、申込時、申込書の「備考欄」に記載いただき、申込締切日までに運営事務局へご連絡ください。
11. 展示出品台の有無 : 基礎小間には既設の出品台を付属しておりますが、既設出品台が不要な場合、申込書の「出品台の有無」欄に不要な小間数分(出品台数分)をご記入下さい。また、基礎小間を利用せず、自社にて特別装飾を施す予定がある場合には「自社にて特別装飾を予定」欄にチェックを入れてください。
12. 出展物の管理 : 各出品物管理は出展者が責任を持つものとし、展示期間中の出品物の盗難・紛失・火災・損傷など、不可抗力による出品物の損害に対して、補償などの責任は一切負いませんのでご了承下さい。
13. その他の事項 : 開催当日の自社小間前以外(展示会場や講演会場となる建物内外)でチラシ・カタログ・試供品などを配布することは禁止といたします。多くの出展者が参加されますので、ご協力下さい。ただし、チラシ配布に関する協賛メニューを購入いただいた場合や、その他、実行委員会で決定した場合は除きます。

◆ Aタイプ

小間料金：250,000円（税別）／小間

○募集対象

医療・ライフサイエンスの研究などに必須の機器類、試薬類、ディスプレイ製品類、ソフトウェア・データベース等を含むコンピューターシステム類、受託解析等のサービス類を扱う企業/団体が対象となります。

○小間サイズ；W1,980 x D1,980 x H2500（mm）

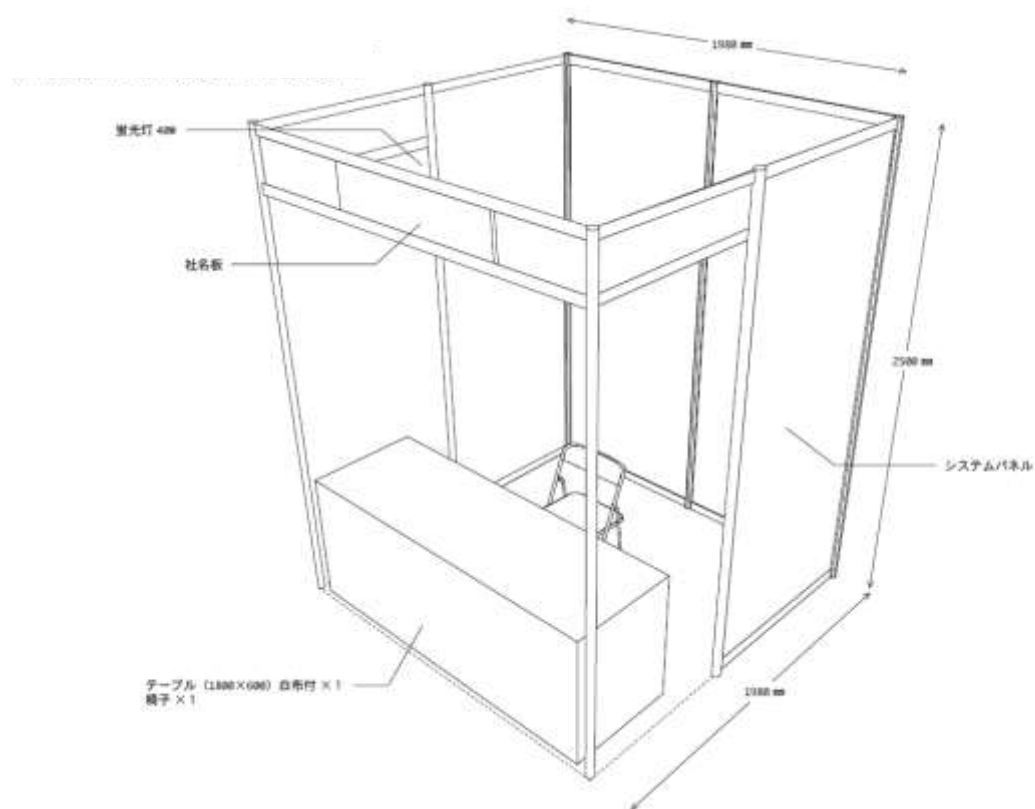
○セット内容：テーブル（W1,800 x D600（mm）、白布付き）、社名版、蛍光灯（FL40W）、イス1脚（複数小間申込みの場合は異なります）

○基礎小間製作仕様は、システムパネルとなります。

壁面への画紙や釘類でのパネル・ポスター等の貼付はできません。

○展示説明員の名札は1小間につき1枚配布いたします。

小間図イメージ



◆ Bタイプ 小間料金： 30,000 円（税別）／小間

○募集対象 関連書籍等を扱う、出版社、書店、翻訳サービス等の企業／団体が対象となります。

○小間サイズ：W1,980 x D900 (mm)

○セット内容：テーブル (W1,800 x D600 (mm))

イス1脚 ※社名版、出品台の布等は、各出展者にてご用意ください。

○展示説明員の名札は1小間につき1枚配布いたします。

◆ Cタイプ 小間料金：100,000 円（税別）／小間

○募集対象 アカデミア関係機関を対象とし、大学や公的機関等が該当します。

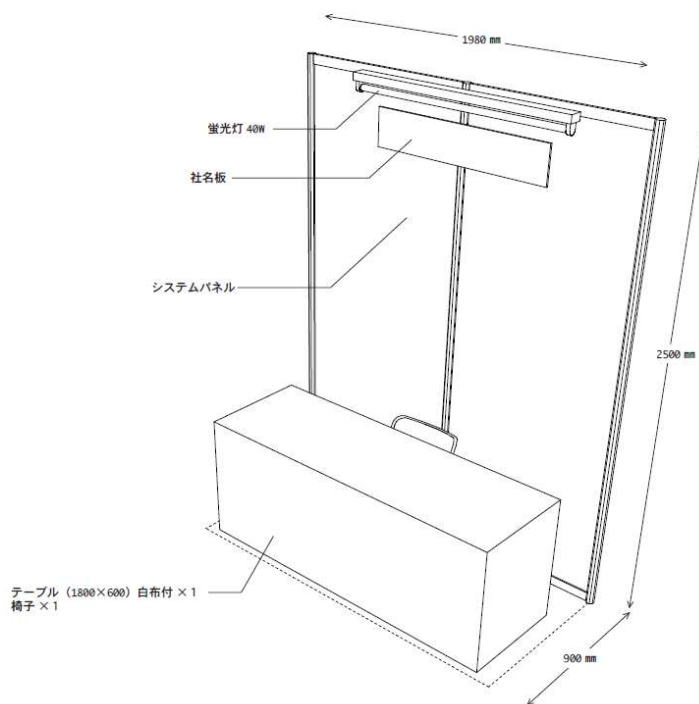
○小間サイズ：W1,980 x D900 x H2,500 (mm)

○セット内容：テーブル (W1,800 x D600 (mm)、白布付き)、社名板、蛍光灯 (FL40W)、イス1脚 (複数小間申込の場合は異なります)

○基礎小間制作仕様は、システムパネルとなります。壁面への画鋏や釘類でのパネル・ポスター等の貼付はできません。

○展示説明員の名札は1小間につき1枚配布いたします。

小間図イメージ



※電気容量の申し込みは1ヶ月前に送付予定の「展示要綱」にて承ります。

※清掃費、ゴミ処理費用は別途請求させていただきます。

# 第 39 回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016 展示会出展申込書

申込書提出先 (FAX または、E-mail でお送りください):

**第 39 回日本神経科学大会 運営事務局**

郵送: 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング  
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン(旧:株式会社 ICS コンベンションデザイン)内  
FAX: 03-3452-8550 E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp  
※2016 年 4 月より、移転のため連絡先が変わりました。

本学会の趣旨に賛同し、下記のとおり展示会出展を申し込みます。

**申し込み期限: 2016 年 4 月 13 日(水)**

年 月 日 ( )

貴社名	フリガナ			
	(日)			
	(英)			
所在地	〒			
ご担当者	フリガナ		部署 役職	
電話番号		FAX		
E-mail				
申込み内容	内容	1 小間 金額(税別)	申し込み小間数	合計金額(税別)
	<input type="checkbox"/> Aタイプ	250,000 円		円
	<input type="checkbox"/> Bタイプ	30,000 円		円
	<input type="checkbox"/> Cタイプ	100,000 円		円
出展内容	<input type="checkbox"/> 自社にて特別装飾予定		<input type="checkbox"/> 出品台の有無 有: ___台 or 無	
	詳細:			
備考				

**【個人情報の取り扱いについて】**

ご記載いただきました個人情報は、第 39 回日本神経科学大会に関する各種ご連絡に限り使用します。  
本人の承諾が無い限り第三者に開示することはありません。

大会運営事務局 記入欄
----------------